

[沿革]

大正10年 (1921)	4月	沖縄県水産試験場設立、事務所を県庁内に置く
昭和2年 (1927)	11月	調査船初代「凶南丸」100トン竣工
3年 (1928)	3月	那覇市垣花町に庁舎新築
19年 (1944)	12月	空襲により焼失
23年 (1948)	7月	沖縄水産試験場として再出発、事務所を沖縄民政府内に置く
25年 (1950)	4月	琉球水産研究所に改称
27年 (1952)	3月	佐敷町馬天に庁舎新築移転
32年 (1957)	5月	那覇市泊に庁舎新築移転
35年 (1960)	5月	調査船第2代「凶南丸」159トン竣工
41年 (1966)	8月	調査船初代「くろしお」21トン竣工
	10月	石垣市に支場として八重山水産模範養殖場設置（日政援助） 本場の研究室をこれまでの漁労・製造・増殖の3部門から資源調査が 加わり4研究室となる。さらに庶務課が設置される
45年 (1970)	1月	琉球水産研究所、同八重山支所に改称
	10月	琉球水産試験場、同八重山支場に改称
47年 (1972)	4月	復帰に伴い沖縄県水産試験場及び同八重山支場に改称 本場は1課4研究室体制から1課2室体制となる。
49年 (1974)	8月	糸満市に本場庁舎新築移転（国庫1/2）
50年 (1975)	1月	調査船第3代「凶南丸」216トン竣工
55年 (1980)	3月	調査船第2代「くろしお」34トン竣工
58年 (1983)	4月	本部町に栽培漁業センター（支場）開設
63年 (1988)	4月	同センターとして独立
平成元年 (1989)	3月	大型飼育棟新設（国庫1/2 本場）
2年 (1990)	3月	水産情報管理棟新設（国庫1/2 本場）
4年 (1992)	3月	第2研究棟新設（国庫1/2 八重山支場）
5年 (1993)	9月	八重山支場全面増改築開始
7年 (1995)	3月	調査船第4代「凶南丸」176トン竣工
8年 (1996)	2月	調査船「くろしお」34トン廃船
	3月	八重山支場全面改築竣工
13年 (2001)	4月	機構改革に伴い水産業改良普及所と統合

[施設]

	本 場		八重山支場	
敷地面積 (㎡)		19,551		23,622
本 館 (㎡)	1階建	1,045 (研究棟含む)	1階建	248
飼育実験棟 (㎡)	3棟	914	1棟	200
開放実験棟 (㎡)	1棟	223	—	—
魚病実験棟 (㎡)	1棟	99		
研 究 棟 (㎡)			2棟	402
屋外実験池 (㎡)	29面	281	38面	1,733
屋内実験池 (㎡)	10面	222	35面	1,141
展 示 棟 (㎡)			1階建	192
調査船	凶南丸	176トン・1,200HP	平成 7年 (1995)	3月竣工